

企業等名		社会福祉法人 敬寿会
活動日時		R7年12月15日（月） 9：55～11：45
活動場所		東北文教大学山形城北高等学校
支援対象	利用団体名（学年）	1 学年
	人数（指導者等も含む）	37名（児童・生徒 36名、指導者・保護者 1名）
活動の概要		1 限目：企業紹介・福祉について 2 限目：高齢者体験 自分たちにできることを考える

（活動の様子）

初めに、福祉とは・・・？ということで企業の説明と働いている職種の紹介を行いました。
その後、高齢化率クイズなどを行いながら住んでいる地域の現状や自分たちの将来について考えました。
福祉について学んだ後、視覚・聴覚・上肢・下肢・手指の5つのグループに分かれ高齢者の身体的な変化や日常生活での困難を理解することを目的に、疑似体験用の装具を使用し体験を行いました。
生徒の皆さんからは、「思ったより歩きにくい」「視界が狭くて怖い」「全然聞こえない」「体が洗えない」などの声が聞かれました。
グループワークでは、体験を通して感じたこと・今の自分にできることを中心に話し合いを行いました。
「話し方の工夫が必要」「段差のない場所を増やしたい」「背中が洗えない、何か対策はあるのか？」
「補聴器や眼鏡はどれくらいの効果があるの？」など、意見がたくさん出ておりました。

今まで、あまり考えることのなかった【福祉】について生徒の皆さんが、身近なものと捉えて下さり福祉への関心や共感が高まる有意義な活動となりました。

